



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.5.11

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は米国とイランの停戦合意が近いとの報道を受け原油価格（WTI期近）が一時80ドル台まで急落し、株価が世界的に急騰する場面がありました。その後、両国の協議に目立った進展がなく原油価格は90ドル台半ばまで反発しましたが、株価はテクノロジー株への買いが続き高値圏を維持しました。NYダウは週間で+0.2%、ナスダック総合指数は同+4.5%（最高値更新）、独DAX指数は同+0.2%、日経平均株価は同+5.4%（最高値更新）で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲2bpの4.36%、ドイツは▲3bpの3.01%、日本は同▲3bpの2.48%に低下しました。ドル円相場は前週末比33銭円高・ドル安の156円68銭で引けました。

今週は、米国とイランの停戦に向けた覚書合意の行方に市場の関心が集まります。米国はトランプ大統領の訪中（14-15日）前の合意を目指しているとみられ、ホルムズ海峡の航行正常化に向けて事態の進展があるか注目されます。

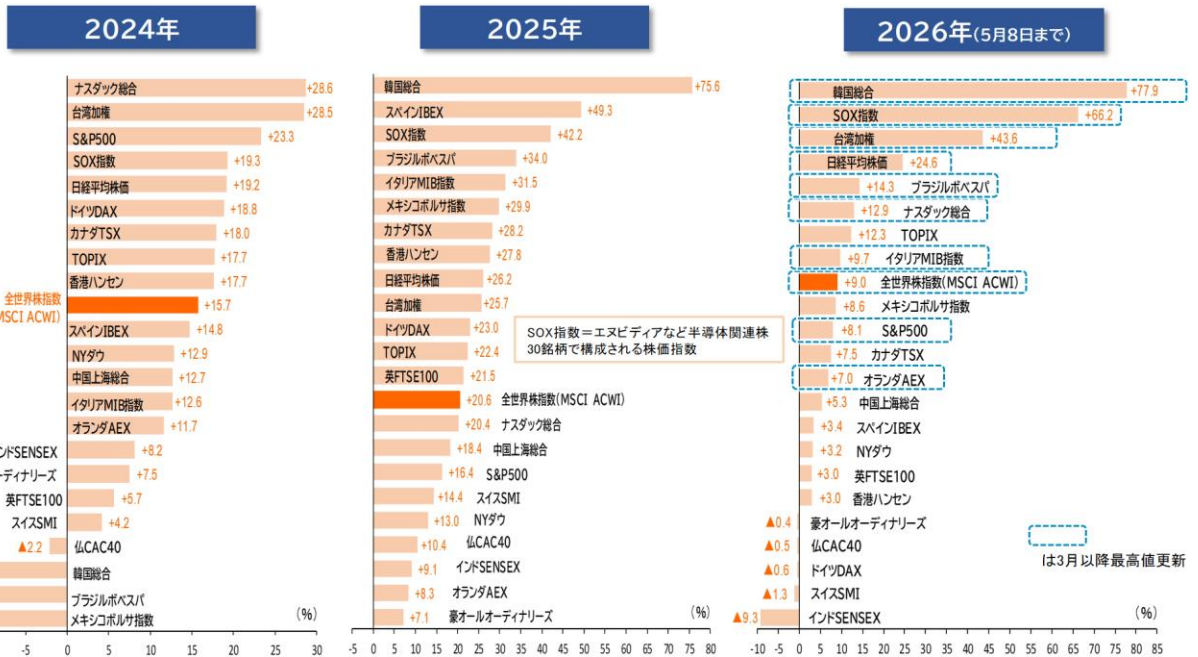
当面の注目イベント

- ★米・4月NFIB中小企業楽観指数 (12日)
- ◆米・4月コアCPI (12日)
- ◆米・4月PPI (13日)
- ◆米・トランプ大統領訪中(予定) (14・15日)
- ◆米・4月小売売上 (14日)
- ◆日・4月企業物価 (15日)

～日本主要企業1-3月決算発表～
りそなHD(12日)、ソフトバンクG、日産自動車、日本製鉄(13日)、
ホンダ、フジクラ(14日)、キオクシアHD(15日)

★：りそな景気先行指数関連指標

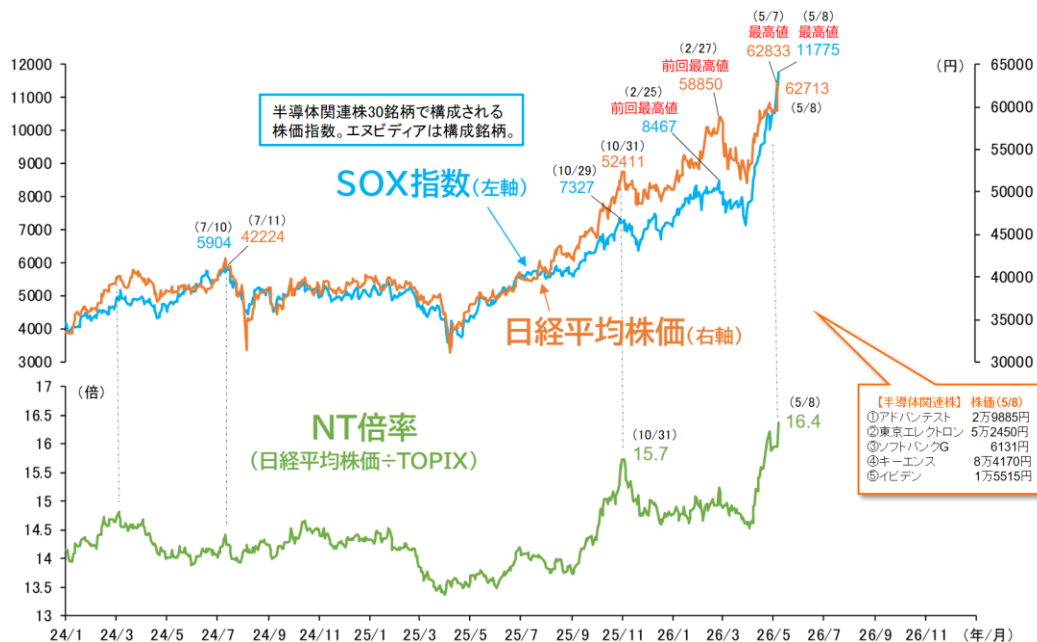
年初来の主要株価指数騰落率では、半導体などテクノロジー株の比重が高い韓国、台湾などが大幅に上昇する一方、資源輸入国で原油高が経済にマイナスとなる東南アジアや欧州が総じて低迷する傾向がみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

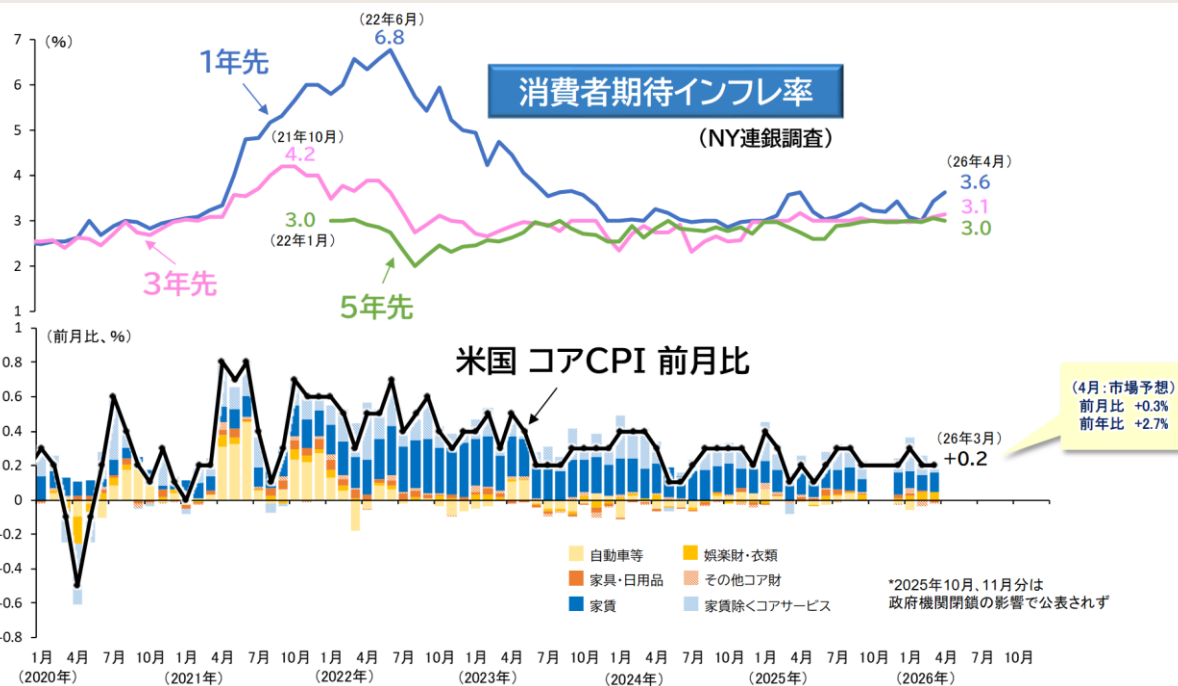
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

日経平均株価は値高の半導体関連株を牽引役に大幅上昇する一方、約1500銘柄の時価総額加重で算出されるTOPIX（東証株価指数）は伸び悩み、NT倍率（日経平均÷TOPIX）が過去最高の16倍台まで急上昇しました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

インフレ上振れを判断する際にFRBが重視する指標として「消費者期待インフレ率（3年先・5年先）」と「家賃除くコアサービス価格」が挙げられます。21年の物価上昇時と異なり、両指標とも安定しています



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年5月18日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。